

ショッピングひさわ食品有限会社

長野県下伊那郡下條村



店舗概要

創業年 1979年(昭和54年)
売場面積 458.7㎡(139坪)
従業員 15名
営業時間 9:00~19:00
定休日 水曜日
売上高 306,868千円

商品構成

青果 14.6%	惣菜 12.2%
鮮魚 21.1%	その他 38.0%
食肉 14.1%	

経営方針

- ・利は基にあり、徹底した計数管理の責務化
- ・シンプルで、効率的な運営
- ・責任分野（職務）の徹底した責務指導
- ・お客様志向に徹し、地域密着型スーパーの構築
- ・鮮度、味、価格の更なる追求

無料送迎バスの運行により買物弱者を支援する総合食料品店

[買物弱者に対する無料送迎バスを運行]

「顧客あっての我々、我々あっての顧客」という、お互い持ちつ持たれつに精神に徹している。日々、社会人としての向上に研鑽努力し、社員相互の幸福を築くと共に、地域社会に貢献するという理念を持って行動している。

10年以上前から村内外の買物弱者に対する無料送迎サービスを定休日と日曜日を除き、運行している。無料送迎バスの運行エリアは、下條村・飯田市(南部の下條村隣接地区)・阿南町・泰阜村・阿智村である。また、売木村には仕出し等を配達している。

[無料送迎サービスの利用状況]

- 週5日運行×2コース＝週10コース…往復1時間くらいのコース設定
- 送迎客は、目的買いであり、安売り商品を目当てにきていない。
- 客単価は、6,000円と高い。(通常客は、2,200円)…週1回のまとめ買い
- 送迎バスは、乗り降りしやすく工夫している。(自動ドア、手すり)
- 道路から離れている家には、運転手が家まで買物袋を運んでいる。
- 送迎は、自宅から共同店舗まで。1人でも送迎している。今まで無事故である。

[全体の集客力向上のために月に一度の定例役員会]

毎月1回、定例役員会を開催し、7部門毎の数値目標(売上、売上総利益)を立て行動している。

また、税理士と相談し、毎月の経営状態の確認と今後の目標を立てている。

全体の集客力向上のために様々な分野で協力態勢を構築している。例えば、他店舗(衣料品店)の経営改善のために、ギフト事業やセレモニーの受付などの新規分野を提案しアドバイスしている。

また地域との連携として店内に地産地消コーナーがある。村外へ地元商品を納入している。

[壁を取り除き見通しのよい回遊スペースに変更]

インショップのように専門店を壁で区別していたが、壁を取り除き共同店舗全体の見通しを改善し、買い回りしやすいようにレイアウトを工夫した。

その他の店舗設備上の工夫として次のものがあげられる。

- 特売品や農産物の販売コーナーを設けている。
- 冷蔵庫、冷凍庫の温度管理を適正に行っている。
- 駐車場スペースは、80台を確保している。
- 自動販売機を13台設置している。
- 店内にベンチを置き休憩スペースとしている。

[特色ある商品を販売]

農家等のグループがつくっている地元の食材を使用した味噌、漬け物などを販売している。

また広く流通していない地元で人気のある商品を販売している。

惣菜コーナーを設け、店内で加工した惣菜を販売している。通常商品の他に、手作りの日替わり商品5品、季節商品5品を揃えている。

毎週金曜日に新聞折込みチラシを5,500部(6市町村)入れている。土曜日～月曜日の特売商品やイベント、日替わり商品を案内している。

ポイントカードを発行しており、3,700人の会員がいる。(500円で1点。100点で500円の商品券と交換。)毎週木曜日は、「おまけの日」としている。3,000円以上の買物で、おまけ商品を1個プレゼントしている。毎回、80～150個のプレゼントがある。

[計数管理の充実]

部門毎に売れ筋商品、売れ行きの悪い商品をパソコンで把握できるようにしている。この情報を仕入に活用している。(今月のベスト100品目、ワースト100品目)

日配品は値下げのマニュアルがあり、廃棄を記録するようにしたところ、廃棄ロスが低下している。

値上がり商品を事前に把握し、原価(調味料など惣菜原価の抑制)を抑えている。特売品の仕入は、仕入先と相談し原価低減に努力している。

税理士等の経営分析資料にもとづき販売管理費削減に努力している。

[意欲とコミュニケーションの充実]

部門スタッフに権限(仕入、値付け、チラシ商品)を与えることにより、企画力や意欲の向上につながっている。縦の連絡だけでなく、各部門の横の連絡を密にし、無駄とりの業務改善を行っている。(値付けの見直し、商品ボリュームの見直し等を他の部門から提案する。)

また、従業員の家庭の事情に応じた形で、勤務時間を設定しており、他の人がカバーできるように

人材を育成している。

【店舗立地】

下條村は、長野県の最南端下伊那郡のほぼ中央に位置し、飯田市から車で20分、三遠南信自動車道 天竜峡 I.C から車で5分の位置にある。

当店は、国道151号に面している。道路から共同店舗へは上り坂となっているため、少し入りにくい地形である。駐車場(80台)に対し、L字型に共同店舗(4店入居)と食堂、薬局の3棟が建っている。共同店舗は、間口の広いつくりであり、食品雑貨・衣料品・酒類・家電などを扱っている。

当店から8kmのところ阿南SCナピカ(共同店舗、150坪)があり、10kmのところAコープあいぱんいいだ店(SM、300坪)、15kmのところユニーアピタ飯田店(1,500坪)があり競合。

【店舗実績】

経営者は、昭和24年生まれの62歳である。

昭和41年に高校を卒業後、日立家電に10年勤務し、その後、下條村にUターンして衣料品店に入店した。その衣料品店が共同店舗設立に参加し、昭和54年に陽阜ショッピング協同組合創立時に入社した。

昭和61年にショッピングひさわ食品(有)に入社、平成23年7月に代表取締役社長となる。



↑無料送迎サービスのチラシ

↑見通し良くレイアウトされた店内

→代表取締役社長の塩澤未寿さん



←毎週木曜日「おまけの日」のポップ

